

高校前期入試対策

全6回

夏期集中

小論文特講

平成25年度小論文問題（前期選抜（文理学科を除く））
次のA～Fの6つのテーマのうちから1つを選択する。

- A ことばの大切さ
- B 科学技術の進歩と社会
- C 国際理解を深めていくために必要なこと
- D 高校生活を通して学びたいこと
- E 豊かな社会を実現するために必要なこと
- F 人と人が互いに支え合う社会を築くためにできること

30点満点 400字程度

採点基準について
採点に当たっては全体の解答状況を把握し、次の観点に基づいて採点基準を作る

- ・興味、関心
- ・論理性
- ・独創性
- ・意欲

大阪府教委公開基準

◆◆◆◆ なぜ小論文試験が求められるのか？ ◆◆◆◆

スマホ全盛の時代、電子画面から大量の文字情報は簡単に検索できるようになった。しかし、反面その文書を自ら発することも求められるようになった。年々新聞の定期購読数が減少する昨今、どうしてもリアルな文字データを書籍や新聞等に求め、そこから自分に必要な情報を取捨選択する能力は確実に低下しているのかもしれない。

その能力は、これから進学していく大学や大学院、更には実務社会において当たり前のように求められているのが現実であり、その能力の是非に応じて社会的なポジションも決まってくるのかもしれない。

そのような現実社会でのニーズを反映してか、正に「書く力」を試す、作文や小論文の試験は花盛りの様相を呈する。どうしても小さい頃より「読む」ことから始まり「読解する力」そして「書く力」へと続く流れの連鎖を自然と会得するのはかなりの力を要するし、ましてや小学校や中学校の義務教育現場ではそこまで深くは書く力は求められていないようにも感じる。

そのような安穏とした日々の学習環境に突如として大きな壁となって子供たちの前に立ち上がるのが入試での「作文」や「小論文」である。早い段階で対策を行い、普段から思考回路の一部を文書表現できる訓練を行っていれば、逆にこの試験問題は自らへの順風となるのであろうが、いきなり入試の科目の中にこの「小論文」を見つけた子供たちのうろたえようは想像に難くない。

「もっと早くからやっておけば良かった」。いつの時代も親である保護者が感じ入る共通の反省点でもあるが、当の体験者である子供たちはそのようなことさえも素知らぬように日々を謳歌しているのが、昔から変わらぬ現実であるのだろう。

一刻も早く対策を始め、少しでも多くの時間を「書く」練習に費やすことが小論文攻略の妙案であることは多くの学習者の知るところである。

「転ばぬ先の杖」という諺が本当に理解できている子供たちは、既に入試に向けたスタートを切っているのである。

彩都西駅前校 教室長

期間：平成25年7月20日(土)～8月31日(土) ※8/17(土)を除く毎土曜日

対象：中学生(特に中学3年生は必修)

時間：19:00～21:00(2時間/回)

料金：¥7,350(税込み・資料代込み・毎回の添削問題込み)

定員：16名(先着順、定員になり次第締め切ります)

申込：電話又は下記のFAXシートにてお申し込みください。



彩都西駅前校
Dr.関塾
ドクター カンジュク

茨木市彩都あさぎ 1-2-18-203

電話:072-640-6677 FAX:072-640-6688

..... 切らずにこのまま FAX してください。(FAX:072-640-6688)

生徒氏名： _____ 学校名： _____ 学年： _____ 年

住所： _____ 電話番号： _____

保護者氏名： _____